

はじめてのクラシック

INTRODUCTION TO CLASSICAL MUSIC

イラスト:IKE/文:松井治伸

A
2026 JANUARY
[第2054回]

グスタフ・マーラー

Gustav Mahler (1860-1911)

ストイックに理想を追い求めた芸術家

自分の影にハンマーを振りかざすミニマーラー。
完璧主義な彼は、自分自身にも厳格だ



マーラーは理想の音楽を目指して突き進むタイプの芸術家でした。ウィーン宮廷歌劇場（現在のウィーン国立歌劇場）の音楽監督として、新演出の採用や若手の登用など、慣習を打破し、厳しい練習も行います。彼の指揮は音楽にのめりこんだ激しいものだったと言います。成果をあげた一方で、妥協を許さぬ姿勢は周囲との対立も生み、結局彼はウィーンを去ります。《交響曲第6番「悲劇的」》の第4楽章には、巨大な木槌で木製の台を叩く打楽器「ハンマー」が使われます。その強烈な音と闘争的な音楽、悲劇的な幕切れには、そうしたマーラーの姿が重なるようです。